

令和元年度実施結果報告書

本評価結果は令和2年1月23日から24日に実施した「ニチイキッズ仙台さかえ保育園」の評価報告書です。

ニチイキッズ 仙台さかえ保育園



(様式1 - 第三者評価機関公表用)

宮城県福祉サービス第三評価結果

1 第三者評価機関名

NPO法人 介護の社会化を進める
 一万人市民委員会宮城県民の会

2 施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ仙台さかえ保育園		種別：認可保育園	
代表者氏名：島 嘉子		定員（利用人数）： 90 (64) 名	
所在地：宮城県仙台市宮城野区栄一丁目3番15号			
TEL：022-387-0250		ホームページ： http://www.nichiikids.net/nursery/other/sennndaisakae/index.html	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 平成27年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：(株)ニチイ学館			
職員数	常勤職員： 9 名	非常勤職員	7 名
専門職員	保育士： 10 名	事務員	1 名
	管理栄養士 1 名	調理師	3 名
		用務員	1 名
施設・設備の概要	(居室数) 9	(設備等) 冷暖房、床暖、空気清浄機	

3 理念・基本方針

保育理念：思いっきり遊ぶ、思いっきり学ぶ。
 私たちは「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます。

保育目標：すくすく育つ/健全な心と健康な身体
 わくわく遊ぶ/説教的に学ぶ好奇心 豊かな創造力と自己表現力
 生き生き過ごす/自ら考え行動する自発力 地域で育む思いやりと広い視野

4 施設・事業所の特徴的な取組

- ・隣接しているケアセンターとの月1回の訪問、交流会
- ・月2回の外部講師による体操教室と英語レッスン
- ・保育士によるリトミック活動

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和1年9月20日（契約日） ～ 令和2年3月3日（評価結果確定日）
受審回数	初 回

6 総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>1. 保育理念、保育方針が明文化されています。</p> <p>保育理念（おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ）と保育方針（やさしく・つよく生き抜く力を育みます）を受けて、具体的な保育目標を「すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす」と定め、職員の行動規範として取り組んでいます。</p> <p>2. 働きやすい環境づくりに努めています。</p> <p>法人の各種福利厚生制度が確立しています。育児や介護の休業制度をはじめ各種の休暇制度が整っています。職員は一定以上の休暇の取得が義務付けられているほか家族愛休暇なども取り入れています。子育てと仕事（両立支援制度）を積極的に進めている企業として、次世代認定マーク、「くるみんマーク」と「トモニンマーク」を取得しています。</p> <p>3. 安全な食事への取り組みが図られています。</p> <p>「おもいっきりみんなで食べられる給食」を保育園の給食方針として掲げて、三大アレルギー食材である「卵・乳・小麦」を使わない献立を導入し、アレルギーのある子どもみんな一緒に食べられる給食を提供しています。季節感のあるもの、郷土料理などを取り入れた献立を作成し、子どもの食に関する経験を広げています。有害な食品添加物や遺伝子組み換え食品、加工品は極力使用せず、安全な食材を使用し、料理は薄味で、子どもの味覚の発達を大切に育てています。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>1. 中・長期的ビジョンの明確化。</p> <p>中・長期の事業計画は法人本部で作成しており、保育園としての独自の中・長期計画が作成されていません。保育園独自の取り組みと策定が望まれます</p> <p>2. 地域の福祉ニーズの把握とボランティアの受入れの取組</p> <p>地域に対しては、保育園で実施している運営委員会での意見交換会や区の関係機関等との連携は図られていますが、更に地域の各種会合への参加や地域住民との交流活動等、福祉ニーズの把握に努めることが望まれます。又、保育園は地域の社会資源として学校等への協力が役割の一つであり、ボランティアの受入れが求められています。保育園の目的でもある「地域に開かれた保育園」を目指して取り組むこと</p>

が望まれます。

3. 独自性のある取り組み

全国に展開する法人の保育園であり、マニュアル他、運営の基本的な体制が整備されています。しかし、地域性や環境に応じた取り組みが不足している面がうかがえます。豊かな情操を育むための取り組みとしての「異年齢児交流保育」、豊かな自然や様々な体験を得るための取り組みとしての「園外保育」等、地域性や環境に応じた独自の取り組みを加えていくことが望まれます。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価では、当園の保育での足りない部分を指摘していただきました。今後は、地域交流等の連携を図り地域に開かれた保育園を目指していきます。

また異年齢交流保育を計画的に行い、必要に応じて大学生ボランティアの援助を受ける等で、園外保育の機会を増やせるようにしたいです。

中期・長期計画については職員で意見を出し合いながら作成し、保育向上に役立てていきます。自己評価チェックは、会社のものだけでなく全国保育協議会の物も取り入れ保育の改善と専門性の向上につなげていきます。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

**令和元年度 宮城県福祉サービス第三者評価結果票
保育所(園)**

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念・基本方針が確立・周知されている。			
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	<p>保育理念は「おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ」「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます。保育目標は「すくすく育つ・わくわく遊ぶ・いきいき過ごす」と定め、職員の行動規範となる具体的な内容となっている。0歳児から5歳児それぞれのクラスに応じた保育計画を作成し取り組んでいる。保護者への周知は「入園案内兼重要事項説明書」により実施している。</p>	a	1
2 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<p>保育園の利用定員(90名)に対し利用率約63%となっており、その改善が課題となっている。待機児童の現状や事業経営を取り巻く環境については、法人本社で把握しているが、保育園としての把握・分析が望まれる。</p>	b	2
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	<p>保育園の運営状況や収支の状況については、職員会議で周知するとともに、法人の支店へ毎月報告している。経営課題は、保育園児の利用率を高めることであり、職員も理解している。現状の改善に向けた具体的な取り組みが望まれる。</p>	b	3

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
3 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	法人としての中・長期計画はあるが、保育園としての計画は策定されていない。保育園独自の中・長期計画の取り組みと策定が望まれる。	b	4
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	「全体的な計画」として、事業目的、保育方針、保育理念、保育目標等、資金収支予算書は策定されているが、中・長期計画を反映したものとなっていない。中・長期計画を反映した単年度の計画が望まれる。	b	5

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	事業計画は単年度計画である。0歳児から5歳児までそれぞれの年間指導計画をI期からIV期に分けて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を目標に具体的に作成している。しかし、計画の実施状況については評価の方法、見直しの時期などが定められていない。評価に対しては職員・保護者の意見を取り込めるような手順等を含めた策定が望まれる。	b	6
② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	事業計画「全体的な計画・年齢別年間指導計画・年間食育計画・行事計画等」を閲覧できるようにしている。入園時に「入園兼重要事項説明書」を基に保護者に説明している。行事計画等については、毎月の「園だより」で周知している。	a	7
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
円環			
① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	全職員を対象に、年2回目標管理シートによる自己評価を実施している。その取り組みの目標達成状況を施設長等上司の評価を受け、保育力の向上に取り組んでいる。保育園の保育内容を総合的に評価する取り組みは、これからとなっており、現在取り組んでいる第三者評価調査の受審による課題の改善に期待したい。	b	8
② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	職員が作成した目標管理シートによる施設長との対話を、上期、下期毎に実施している。1次評価・2次評価による評価を行い、最終評価を実施するという仕組みがある。しかし、評価結果は個人の評価である。保育園として取り組むべき課題を明確にし、改善計画を実施することが望まれる。	b	9

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅱ 組織の運営管理			
1 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	毎月開催する職員会議で、保育の質の向上に向けた施設長としての考え等を周知している。施設長業務マニュアルに施設長の役割と責任が規定されている。今後は文書による周知が望まれる。	b	10
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	施設長は法令遵守に関し、職員会議で周知している。法令遵守に関して職員の知識向上に向け、外部研修や勉強会に積極的に参加している。	a	11

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	施設長が外部研修で得た知識と、職員が研修を受けた際の報告書を参考にして園内研修を実施している。研修の結果は、1週間以内に法人支店に報告することとなっている。保育の現状については、年2回の施設長との対話を通して職員一人ひとりの意欲の醸成に取り組んでいる。	a	12
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	施設長は、資金収支予算書を基に、法人支店と共に分析し改善点を把握している。特に、利用率の向上は経営上の要であり、更に、法人支店と連携して経営の改善に向けて取り組むことが望まれる。	b	13
2 福祉人材の確保・育成			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	法人として、保育園の運営に必要な福祉人材の確保や人材体制の方針、計画等が定められている。入社3カ月は試用期間として「入社職員OJTチェックシート」を利用して評価をしている。測定期間は、入社2週間後、4・6・8週間後の4回の評価実施となっている。自己評価と施設長による評価41項目の詳細に亘る内容で、レベル1から4段階での評価となっている。	a	14
② 総合的な人事管理が行われている。	就業規則や雇用契約書に就労の条件が明記されており、法人支店で総合的な人事管理が行われている。昇進、昇格、賃金水準等の人事基準やキャリアパスに関しては、職員採用時に説明している。「期待される職員像」を明確にした更なる取り組みを期待したい。	b	15

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 職員の就業状況に配慮が	よる		
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	日常的に、職員相互の心身的状況に気を付けて、健康状態の把握をしている。有給休暇の消化率100%を初めとして、職員の家庭的問題等からくる突発的なシフト変更等に柔軟に対応し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	16

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	全職員を対象に、年2回目標管理シートによる自己評価を実施している。シートで、規律性、責任性等4項目、小項目12項目について自己評価している。その結果を施設長等による1次評価、2次評価をしている。個別面接を行う等保育園の目標や方針を徹底し、職員一人ひとりの目標が設定されている。	a	17
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	全体的な年間計画の一環として、職員の資質向上に向けた、職場内研修と外部研修への参加機会づくりに力を入れている。研修後は、研修報告書の提出が決められており、職員間で共有を図っている。	a	18
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	職員の資質向上に向けた職場内研修や外部研修への参加機会づくりをしている。入社2年未満の職員を対象とした研修や3年以上を対象としたコーチング研修等の階層別研修が計画されている。仙台市保育所連合会が開催する外部研修への参加に拘らず、今後更に、他の機関が開催する外部研修等への参加が望まれる。	b	19
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し積極的な取り組みをしている。	実習生の受け入れについては、目的を明確にして受け入れ方法・手順を保育業務マニュアルに具体的に定めている。受け入れは、保育士の後進を育成するとの目的で、保育士養成校側と連携し、実習内容についてプログラムを整備している。	a	20
3 運営の透明性の確保			
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評 価 項 目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	法人としての事業内容や決算状況をホームページで公表している。又、保護者が来園の際に閲覧できる所に置いている。毎月の行事予定や出来事を「ニチイキッズ仙台さかえ保育園 園だより」でお知らせしている。。	a	21

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	各保育園が、法人の総勘定元帳から、収支管理表を作成し、東北支社仙台支店と共に、管内の各保育園の運営状況を分析している。保育園における事務、経理等についての監査は、法人本部が一括して実施している。	a	22
4 地域との交流、地域貢献			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	保育園のホームページやパンフレット等に、地域との交流について文書化している。隣接している高齢者施設へ月1回、各クラス毎(3歳以上児)に訪問し歌や踊りを披露したり、ゲームや折り紙等をお年寄りと一緒に楽しんでいる。保育園の発表会に高齢者を招待し喜んでいただけた。又、子育て支援事業として地域の未就学児を対象に「子育て広場」を開設し、ホームページで参加を募るなど交流している。	a	23
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	ボランティアの受入れについては、申し込みがあればいつでも受入れることができる。「ボランティアの受入れについて」のマニュアルを作成している。しかし、ボランティア受入れに関する基本姿勢の明示や計画が作成されていない。今後は、受入れのための基本姿勢を明確にした計画を作成し、保育園の目的でもある「地域に開かれた保育園」を目指して取り組むことが望まれる。	b	24
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	保育園に必要な社会資源をリスト化して事務所に掲示し、職員が活用しやすいようにしている。園児の家庭環境に問題が発生した場合や成長段階に遅れのある子に対して、自治体や専門機関へ繋ぐ等、又、児童相談所、保健所、嘱託医、病院、消防署、警察署等と連携している。必要に応じて保護者へ情報提供を行っている。	a	25
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<p>保育園が実施している運営委員会の意見交換会や区の保育課へ、定期的に連絡し待機児童等の把握に努めている。今後は地域の各種会合への参加や地域行事の参加など住民との交流活動を通じて、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に取り組むことが望まれる。</p>	b	26

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	地域に関わる事業として子育て支援を行っている。地域の未就園児を対象にした「子育て広場」を開催し、英語教室のお誘いや豆まき等ホームページに掲載して参加を募っている。今後は地域に向けて未就園児と母親への園庭開放や保育園の専門性を活かした育児相談等、年間子育て支援計画に取り入れ、多様な相談にも応じられるよう期待したい。	b	27
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
① 子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取組を行っている。	保育園のパンフレットや入園案内兼重要事項説明書に保育理念や基本方針が記載され、年度初めの保護者懇談会で理念や方針など説明している。施設長は子どもを尊重した保育についての研修を受けて、全体会議で職員に周知を図っている。又、職員会議で新・保育指針の熟読を促したり、クラス全体の様子等を話し合うなど子どもへの共通の理解をもつ取組を行っている。	a	28
② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	人権擁護に関わるマニュアルが整備され、職員への研修により理解されている。子どもの年齢に合わせた快適な環境づくりになっており、その中でマニュアルを活用し子どものプライバシーは守られている。子どもの生活の様子をホームページや写真に掲載する場合は、保護者からの同意を得ている。	a	29
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	ホームページに保育園の概要等が掲載され、保育内容や特徴的な取組み等、利用希望者へ情報を伝えている。今後は、保育園の特徴を紹介した資料を作成し、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置くことで、利用希望者に情報が伝わるようにしていくことが望まれる。	b	30

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	保育の開始にあたり入園説明会で入園案内兼重要事項説明書など保育園での生活の様子をわかりやすく説明し、保護者から同意を得ている。又、保育内容や行事等の時間の変更がある場合は、内容を記載したお知らせを掲示板に掲示し、保護者にも配布し説明している。	a	31
③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保育園の変更にあたり、その後の対応について保護者が相談できる担当窓口として施設長を配置している。保育園の移行希望者へは仙台市で定めている文書で引継ぎし、子どもへの保育の継続に配慮して、他の事業所や行政等と連携して速やかに対応している。移行先への子どもの様子等は、相互に連絡し合い確認している。	a	32
(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	利用者満足に関する調査の担当者として施設長を配置している。年2回の運営委員会で外部の委員や保護者代表数名・事業所代表・施設長等と意見交換を行っている。行事に対してはアンケートを実施し、次回の行事に活かすようにしている。更に保護者に対する利用者満足に関する調査や保護者懇談会における聴取等を定期的に行い、課題の発見や対応策の検討など、利用者満足の上昇に向けた取組が望まれる。	b	33
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	相談・苦情受付担当者に施設長を配置し、苦情解決責任者はニチイ学館仙台支店長の名前が明記されている。又、外部の第三者委員を配置している。保護者にわかりやすいフローチャートを整備し、保育園の掲示板に表示している。更に、苦情解決責任者や第三者委員を記載したフローチャートを保護者に配布し、周知することが望まれる。苦情解決の結果は、保護者の同意を得て公表する仕組みになっている。	b	34

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評 価 項 目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	相談室は2階の個室に設置され、保護者が相談しやすい環境を整備している。意見箱の設置場所など誰もが活用しやすい環境づくりとなっている。	a	35

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	年2回の運営委員会で保護者からの意見や要望を把握し、行事や運営に反映されている。職員は保護者とのコミュニケーションを大切にしており、アンケートや保護者からの意見や要望を受けた際は、施設日誌に記録し職員間で共有している。又、相談に時間がかかる場合は期限を決めて保護者に伝えており、それ以外は迅速に対応している。	a	36
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	リスクマネジメント責任者に施設長を配置している。危機管理マニュアルや安全管理マニュアルが作成され、避難訓練(毎月)や防犯訓練(隔月)等が計画的に実施され反省等も行われている。又、ヒヤリハット報告は施設日誌に記録され、ミーティングで発生要因など話し合われている。安全に対する取組体制は本社で作成されている。今後は、保育園としてのリスクマネジメント委員会を設置し、より安心・安全な福祉サービスの体制の構築が望まれる。	b	37
② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	感染症対策については施設長を責任者として配置し、管理体制を整備している。衛生管理マニュアルを作成し、感染症の予防や安全確保のための勉強会を行っている。マニュアルの見直しはその都度行っている。入園案内兼重要事項説明書や年間保健計画、保健だより等で感染予防策を保護者に伝えている。又、感染症が発症した場合は即座に掲示し、必要に応じて自治体へ報告している。	a	38
③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	子どもの生命を守るために、危機管理マニュアルや非常災害対策計画を基に、定期的に研修を行っている。毎月の避難訓練では様々な災害を想定して実施しており、消防署立ち合いでの総合訓練を行っている。備蓄の物資管理マニュアル、災害時の連絡体制、避難経路、緊急時のフローチャート等を整備し、点検や備蓄の確認等を行っている。	a	39
2 福祉サービスの質の確保			
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評 価 項 目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	標準的な実施方法は保育業務マニュアル、入園案内兼重要事項説明書、全体的な計画等に文書化されている。入社時に研修やOJTで個別指導を受け、職員に周知している。今後は、標準的な実施方法に基づいて、各職員が日々の保育業務において実施されているかを確認する仕組みが望まれる。	b	40

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	標準的な実施方法(文書)の見直しは本社で定期的実施し、改版履歴が記載されている。月1回の施設長会議で保育園の問題を議題にあげ、改善に向けて検討している。検証・見直しにあたり、帳票等の見直しの仕組みはあるが、保護者等からの意見や提案なども反映される仕組みが望まれる。	b	41
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	入園時の入園面談記録や児童票によって身体状況や生活状況を把握し、全体的な計画に基づいた指導計画書を策定している。又、実施のプロセスや責任及び役割分担体制が作られている。各クラス担任は保育日誌や保護者との話し合いをもとにアセスメントし、子どもの心身の発達に即して計画を策定している。	a	42

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	指導計画の目標やねらい・具体的な保育支援や解決方法の検証等、定期的に見直しが行われている。各指導計画は決められた期間に評価・反省をし、次の計画に繋げている。又、策定した指導計画に基づき、PDCAサイクルで評価・見直しが行われている。	a	43
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保育の実施状況の記録は法人で定めた様式に記録されている。月間計画書、個別月間指導計画、週日案、児童票、保育日誌、発達記録の帳票等に適切に記録され、職員間で共有している。書き方については施設長がチェックをして統一を図っている。	a	44
② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	法人の文書管理規程を基に保管、保存、廃棄、情報提供に関する規程が作成され、管理されている。個人情報の書類等は、鍵のかかる場所で保管されている。職員は研修で個人情報保護規程を理解し遵守している。又、コンプライアンス個人情報トレーニングや自己振り返りチェックシートを使用し、周知を図っている。保護者には個人情報の取り扱いについて、入園時に入園案内兼重要事項説明書を配布し説明している。	a	45
A 福祉サービスの内容			
A-1 保育内容			
A-1-(1) 保育課程の編成			
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保育指針の改定を受けて、全体的な計画が法人本部で作成されている。「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念で「すくすく育つ」「わくわく遊ぶ」「いきいき過ごす」の保育目標を掲げている。しかし、保育課程編成時に職員が参加していない。今後は、職員参加の保育課程の編成の体制を作ること、又、職員と共に定期的に見直しを行い、整備していくことが望まれる。	b	46

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	冷暖房・床暖房・空気清浄器が設置され、クッション性のある床材を使っている。全保育室が南面で日当たりもよく、二重のロールカーテンで日射しの調整を行っている。午睡用寝具は、週1回家庭で洗濯し、室内の清掃や遊具の消毒も定期的に行い、常に清潔で快適な環境が整備されている。	a	47
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	子ども一人ひとりの発達過程や家庭環境を、入園時の保護者からの聞き取りで把握している。3歳未満児までは、毎月個別指導計画を作成し、子ども一人ひとりを大切に保育を行っている。職員は施設日誌やチェック表を使っての日々の保育の引継ぎやミーティング(2回/週)・職員会議(1回/月)等で、子どもの様子を把握している。	a	48
③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	一人ひとりの発達や生活習慣の習得状況を把握し、記録している。3歳未満児では個別計画を作成し、一人ひとりの目標や発達に合わせた対応が確認できる。3歳以上児でも、習得状況の見落としや次のステップへの確認をし、子どもの発達に合わせた丁寧な働きかけを期待したい。又、子ども一人ひとりが生活習慣を身に付けることの大切さを理解できるように、年齢に応じた働きかけを取り入れる工夫も望まれる。	b	49
④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	安全に配慮し、遊びや活動ができるように、環境整備をしている。当園独自の取り組みとして、リズム・体操教室(3歳以上児のみ)を行い体を動かす活動を取り入れている。又、近隣の公園への散歩などは行っているが、身近な自然に触れる機会や様々な社会体験ができる機会の確保が望まれる。	b	50

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>0歳児6名に、保育士2名を配置し、保育士との愛着関係が持てるよう配慮している。連絡帳を通して、保育園の様子や家庭での状況を伝え合っている。離乳食については、食材チェックシートを使い、園と家庭との情報の共有を図りながら、取り組んでいる。今後は、月齢差のある0歳児が長時間安定して過ごすことができるスペースの確保の工夫(仕切りを付けたコーナーの設置等)が望まれる。</p>	b	51
<p>⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>連絡帳や送迎時の保護者との関わりから、日々の様子を伝え合い、子どもの姿や成長の様子を共有している。毎月、個別指導計画を立案して保育が実践されている。発達の記録においては、保育士との関わりや配慮・留意点等の記載も望まれる。</p>	b	52

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	3歳児9名に保育士1名、4歳児15名に保育士1名、5歳児13名に保育士1名で、保育士と子ども一人ひとりが密接に関わることのできる人員体制である。当園の特徴的な活動として、外部講師を招聘しての体操教室や英語教室等を行っている。又、同法人経営の有料老人ホームとの交流も行い、保育士以外の大人と触れ合う機会も多い。今後は、計画的に異年齢保育を取り入れることで、優しさや思いやり等々、異年齢児との触れ合いを通じた子供たち同士の育ち合いの機会を作ることが望まれる。	b	53
⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	現在、自閉症児1名が5歳児クラスに在籍している。11月より加配保育士を外したが、母集団の中で安定して過ごすことができている。他の「気になる子」には、担任からの保護者への丁寧な働きかけにより、医療機関・専門機関との連携をとることができるようになった。家庭には生活の様子を伝えるだけでなく必要な情報も伝えている。職員会議では、障害児や「気になる子」の様子を伝達し、共通理解に努めている。	a	54
⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	子どもの状況について、延長保育日誌や施設日誌を使って、保育士間の引継ぎ連絡を行っている。また、必要に応じて口頭で保護者に連絡しその内容を記録している。18時過ぎ補食を提供している。	a	55
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	指導計画では、就学に向け、見通しを持てるように計画されている。又、行政で実施している幼保小連携事業に参加し、情報交換を行っている。今後は、子どもが就学への期待が持てるような取り組みと併せて、保護者と子どもが共に、小学校以降の生活について、見通しを持てる機会の提供等、具体的な取り組みが望まれる。	b	56
A-1-(3) 健康管理			

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	子どもの健康管理に関する「年間保健計画」が作成されている。入園案内に健康管理について記載し、保育士への周知も図られている。既往症・予防接種等についても、随時保護者から情報を得て、児童票に記載している。SIDS対策については、0歳児5分毎、1～2歳児10分毎、3歳以上児15分毎、午睡観察と共に睡眠状態を確認し、チェック表に記載している。又、登園時、全園児の検温を行い、チェック表に記載し、体調不良の早期発見に努めている。	a	57
② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	健康診断(2回/年)、歯科検診(1回/年)を実施し、検診結果を健康管理カードに記載し、保護者にも連絡している。2歳児後半から食後のうがいを行っている(4・5歳児では、保育園で用意したフッ素添加の水溶液を使用)。又、5歳児は食後の歯磨きを行う等、日々の保育に反映している。	a	58
③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	現在、0歳児1名、1歳児1名、2歳児1名、4歳児1名の計4名の食物アレルギーの子がおり、目印となる食事用トレーで、除去食の給食が提供されている。入園時、保護者から聞き取りを行い、その後は栄養士と保護者との面談による生活管理指導(1回/年)を行っている。	a	59
A-1-(4) 食事			
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	年間食育計画を作成し、「おもいきりみんなで食べられる給食」を実施している。三大アレルギー原因食材除去の導入献立で、全園児が同じ給食を一緒に楽しめるよう配慮している。食育活動も計画的に保育に取り入れて、食への興味・関心を高める取り組みを行っている。食器は全て(英語の文字と絵柄が描かれた)陶磁器製で、スプーンや箸も扱いやすい形の物を使用している。保護者に向けては、給食のサンプル展示、給食献立や給食だよりの配布、給食試食会(1回/年)を行っている。	a	60

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	各種マニュアル(給食衛生・食中毒・食物アレルギー・調乳・離乳食の作り方と進め方等)が整備され、安心・安全な給食が提供されている。献立表は、原則、本部栄養士作成の物を使うが、行事食・郷土食等を取り入れた献立で、当園独自の給食を提供している。栄養士1名と調理師3名が、毎日交替で、クラスを巡回し、子どもの食事の様子や感想等を把握し、日々の給食提供に役立っている。	a	61
A-2 子育て支援			
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	送迎時の会話や連絡帳・園だより・クラスだより等を通して、保育園と家庭との情報共有に努めている。連絡帳や日々の送迎時には、保育園や家庭での様子の情報交換をし、園内で共通理解しておくべき内容は、施設日誌に記録し、昼礼(2回/週)や職員会議(1回/月)で周知している。又、行事後のアンケートや運営委員会での声を通して、保護者の思いや感じていることを聞き取っている。	a	62

事業所名(ニチイキッズ 仙台さかえ保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-2-(2) 保護者等の支援			
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	送迎時の顔合わせで、コミュニケーションを図り、連絡帳の活用も含めて、保育園との信頼関係を築くように努めている。気になる保護者の姿を見かけた場合は、職員から積極的に声掛けし、必要に応じて、相談室で、個別面談を行っている。相談内容は、園内で情報共有している。	a	63
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	日々の取り組みとしては、保育士による視診・観察を行っているが、十分とは言えない。現在、身近な問題として認識することは少ないが、今後、「虐待防止マニュアル」に基づいた内部研修や早期発見・早期対応及び虐待予防に向けた取り組みに期待したい。保護者に対しては、予防的に相談にのる等の援助や、その他の対応を協議する体制の整備が望まれる。又、目に付きやすい場所への虐待防止のポスターの掲示等、積極的な働きかけにも期待したい。	b	64
A-3 保育の質の向上			
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	指導計画等については、保育内容の振り返りや評価が実施されている。また、自己評価(2回/年)で保育実践の振り返りを行っている。しかし、現状の自己評価は、人事考課となっている。全国保育協議会の保育士自己評価チェック表の活用と共に、当園が目指す保育の技術や職員像に沿った独自の評価項目の作成が求められる。自己評価に基づいた職員相互の学び合いを持ち、保育の改善や専門性の向上につなげていくことを期待したい。	b	65